

People

STAFF

文学部

怖さも世に連れ

さかもと ひかる
坂本 光 准教授

こしばらくは、専門を聞かれると「ゴシック小説」と答えています。これは18世紀半ばの英国に始まる恐怖小説のこと。その系譜は連続と続き、フランケンシュタインの怪物やドラキュラのような文化的アイコンを生みながら、いまや小説に留まらぬ一大ジャンルを形成しています。その類型の一つが、怪奇現象が合理的に説明されてゆく、つまり非日常が日常に還元・解決されるというもの。推理小説はこのヴァリエーションです。ゴシック小説の変遷をたどると、恐怖には時代と地域の刻印があること、人は常に恐ろしい物語を好み、また必要としてきたことが分かります。ますますの興隆を見る限り、昨今その度合いは強まりつつあるようです。



商学部

諺に学び、諺を超える

みつはし ひとし
三橋 平 准教授

社会的インターアクションが組織の行動や価値創造にもたらす影響について実証的に研究しています。長い年月を経て形成された「諺」は、先人の知恵と経験が多く詰め込まれています。散々苦労して得た分析結果に「ナーンダ、この諺と同じじゃん」と気がつき、彼等の知見の深さと、新しいことを発見する難しさを感じるものが少なくありません。現在、原子力発電所における代理学習（自らでなく他者の経験から組織が学習すること）に関するプロジェクトを行っています。どうなるか「対岸の火事」が「他山の石」に変わるのか、そのメカニズムを解明するつもりです。今度こそ先人も驚く、諺にも残るような新しい発見をしようと自らを励ましています。



医学部

免疫学に残されたフロンティア

よしむらあきこ
吉村 昭彦 教授

免疫学は多くの先達らによって開拓され続け、現在ではきわめて成熟した学問です。難解と思われることの多い学問ですがアレルギーからがんや神経疾患に至るまで、実は免疫は多くの疾患ときわめて深い関係があります。これらの疾患の多くは免疫の基本原理である自己と非自己の認識（難しく言うと免疫寛容）と「記憶」の破綻から生じます。ごく最近、抑制性の細胞やシグナルが発見され免疫寛容の仕組みの理解は格段に進みました。私もこれまで免疫抑制機構の解明に取り組み、代表的な抑制シグナルを発見しました。最後に残されたフロンティアは「免疫記憶」の分子レベルでの理解です。私自身最後の挑戦のつもりで取り組んでいます。



看護医療学部

障害者の生活と「作品」

すえやすたみ お
末安 民生 准教授

厚生労働省障害者施策推進本部が主催する「第8回全国障害者芸術・文化祭 アートはボーダレス The Borderless Art-Collection」の審査委員を引き受けました。約500人、約7千点もの応募があり、楽しませていただきながら時間をかけて拝見しました。障害者とされる人が思い通りに表現したこと、芸術の訓練を受けていない方々の独創的な作品は、何ものとも比較できない世界から生まれてきます。また特徴としては作品をつくる人々は自分を作家だとか芸術家だとは思っていません。他人とは比べないこと、永遠に繰り返そうとする反復性。理性でもない本能とだけもいえない、人間の深遠からのエネルギーが放たれています。障害者といわれる人々、約600万人の中からの光です。



メディアデザイン研究科

ワークショップコレクション

なかむらい ちや
中村 伊知哉 教授

10月12日と13日、子どもの創造性を育む活動が一堂に会するイベント「ワークショップコレクション2008」が催されました。昨年に続き三田で2回目の開催。参加者は2日で1万人。キャンパスが子どもたちの歓声と笑顔であふれました。全国から集ったワークショップは70種類。アニメ制作、音楽作りといったデジタル技術を駆使したものに加え、アナログも多彩です。ねんど細工、はんだづけ体験、和紙作り。ロケットを作って飛ばす。わりばしで鉛筆を作る。主催者であるDMC機構のほか、湘南藤沢キャンパスや日吉に発足したメディアデザイン研究科の研究室からも出展がありました。今後もこうした楽しく刺激的な産学連携の場作りを企画していきます。



高等学校

卒業研究

にしむらい ちろう
西村 一郎 教諭

本校は、2003年度の入学生から授業内容が新しくなりました。その一つに、3年生では、教員が提示したテーマの中から、生徒が興味、関心をもったものを選択し、論文を作成する「卒業研究」があります。昨年度、私は、「数学の問題のアルゴリズムを考える」というテーマを提示しました。このテーマは、教科書にはありませんが、本校では授業で扱わないため、取り上げました。生徒は、コンピュータを使用し、自主的にアルゴリズムを研究することにより、普段の数学の授業では学べない貴重な知識や経験を得たようでした。各々が独自の特色ある「卒業研究」をしており、私にとっても、授業では見られない生徒の力を発見することができ、いい経験でした。

